

2種混合（破傷風・ジフテリア）定期予防接種 のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良いときに受けましょう。

- 1 対象年齢** 11歳以上13歳未満（13歳の誕生日の前日まで）
- 2 接種回数** 1回
- 3 接種場所** 別紙「予防接種協力医療機関」2種混合の欄に○のある医療機関
※医療機関へ事前に予約をしてから接種してください。
- 4 持ち物** 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳
- 5 費用** 無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。

◎2種混合ワクチンについて

4種混合（百日せき・破傷風・ジフテリア・ポリオ）1期の免疫効果を維持するために、追加として接種します。

◎予防する病気

ジフテリア	ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。感染は主にのどですが、鼻にも感染します。症状は、高熱、頭痛、のどの痛み、犬の吠えるようなせき、嘔吐等です。重症になると心筋炎や神経まひを起こすこともあります。
破傷風	破傷風菌は土の中にあり、傷口から菌が体の中に入り感染します。口や顔のけいれんから始まり、数日以内に全身の強直性けいれんを起こします。日光や騒音の刺激で全身性强直を起こし、次第に激しくなり死に至ることもあります。

◎ワクチンの副反応

- 2種混合ワクチンは局所の反応が最も多く、接種後7日までに、接種部位の発赤・腫れ・しこりがみられます。発赤や腫れは、数日で自然に治まりますが、しこりは縮小しながらも数ヶ月続くことがあります。
- 接種後37.5℃以上38.5℃未満の発熱は、当日約0.1%、1日目約0.4%、2日目約0.2%見られることがあります。38.5℃以上の発熱も接種当日約0.0%、1日目約0.1%、2日目約0.1%見られることがあります。（平成25年度予防接種後健康状態調査集計報告書 平成8年度～平成25年度累計報告より）
- 平成25年4月1日～令和元年6月30日までに医療機関から報告されたうちの重篤症例の発生頻度は10万接種当たり0.2です。（令和元年9月第43回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料から）

R3.4.1